

報道関係者 各位

令和 7 年 10 月 16 日

【照会先】

神奈川県労働局労働基準部監督課

課 長

松田 恵太郎

地方労働基準監察監督官

澤 舘 龍 一

(電話) 045-211-7351

長時間労働削減に積極的に取り組むベストプラクティス 企業を労働局長・運輸支局長が合同で訪問します。

～ 物流課題解消のための荷主と運送事業者との連携した取組み～

厚生労働省では、11 月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過労死等を防止することの重要性について国民の自覚を促し、関心と理解を深めるための取組などを集中的に実施しています。

神奈川県労働局では、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、地域の中で、長時間労働削減に向けて働き方の見直しに積極的に取り組んでいる企業への職場訪問を行い、取組事例について広く紹介することにより、地域における過重労働解消に向けた機運の醸成を図ることとしています。

今年度は、神奈川県労働局長と神奈川県運輸支局長が合同で、物流課題の解消のため連携して取り組んでいる荷主と運送事業者を「ベストプラクティス企業」として訪問し、長時間労働削減などに向けた取組を視察することとしています。

このような企業の取組を広く周知したいと考えておりますので、報道機関の皆様におかれましては、積極的に取材いただければ幸いです。

訪問先：敷島製パン株式会社 パスコ湘南工場

神奈川県高座郡寒川町一之宮七丁目 9 番 1 号（別添地図をご参照ください）

訪問日時：11月4日（火）14：30から（所要時間2時間程度）

※取材いただける場合は、事前に神奈川県労働局監督課（担当：澤舘 045-211-7351）までご連絡ください。

【ベストプラクティス企業】

☐ 荷主会社：敷島製パン株式会社 パスコ湘南工場

（神奈川県高座郡寒川町一之宮七丁目 9 番 1 号）

☐ 元請運送会社：パスコ・ロジスティクス株式会社

（神奈川県海老名市中央二丁目 9 番 50 号 海老名プライムタワー 12 階）

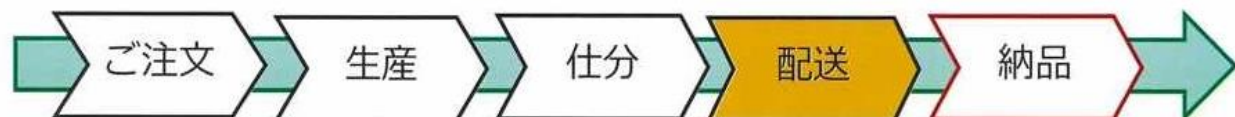
☐ 運送協力会社：つしま運輸有限会社

（神奈川県鎌倉市関谷 1107-1）

荷主と運送事業者との連携した取組 ～安定供給の実現に向けて～

(1) パン輸送の特徴と物流課題

特徴：注文から納品までのリードタイムが短い



※ 基本的に2日～3日で行われる

課題：安定物流の実現 ※荷主が配車を行う理由

《物流課題の増加》

- | | | |
|-----------|---|---------------|
| ◆ 納品規制の強化 | ⇒ | 納品時間の指定増加・複雑化 |
| ◆ ドライバー不足 | ⇒ | 上限規制・新告示の適用開始 |
| ◆ 店舗数の増加 | ⇒ | 小ロット多数店舗配送 |
| ◆ 環境負荷の軽減 | ⇒ | 温室効果ガス排出量の削減 |



「物流の2024年問題」が大きく取り沙汰される以前から、物流課題の増大が顕在化しており、メーカー（荷主）として安定物流を確保する責任があるため、課題解決に向けた取組みを進める必要があった。

同時に、社会貢献としてSDGsの目標を達成するため、環境負荷の軽減を図る必要があり、これらの課題解決のためには**配送コースの最適化**が不可欠であるため、効果的な配車システムへの移行が必須であった。

(2) 配送ルート最適化

配送コースの効率化が必要 ≪配車アプリの導入≫

≪現状の課題を抽出≫

- ① 配送コースは限られた人しか作成できない (※)
 - ② 新規及び変更時の配送コース作成には相当時間を要する
 - ③ 作成した配送コースについて最適なルート判断が難しい
 - ④ 荷主、運送協力会社双方でのコース調整が困難
- (※) 複雑な配車を組むには長年の経験と土地勘による、職人技というべき特殊な技能を要し、特定の社員のみで対応



【荷主の役割】

運行計画立案を運送会社に丸投げ（一任）せず、かつ、熟練者に頼らない運用を進めることができないか…

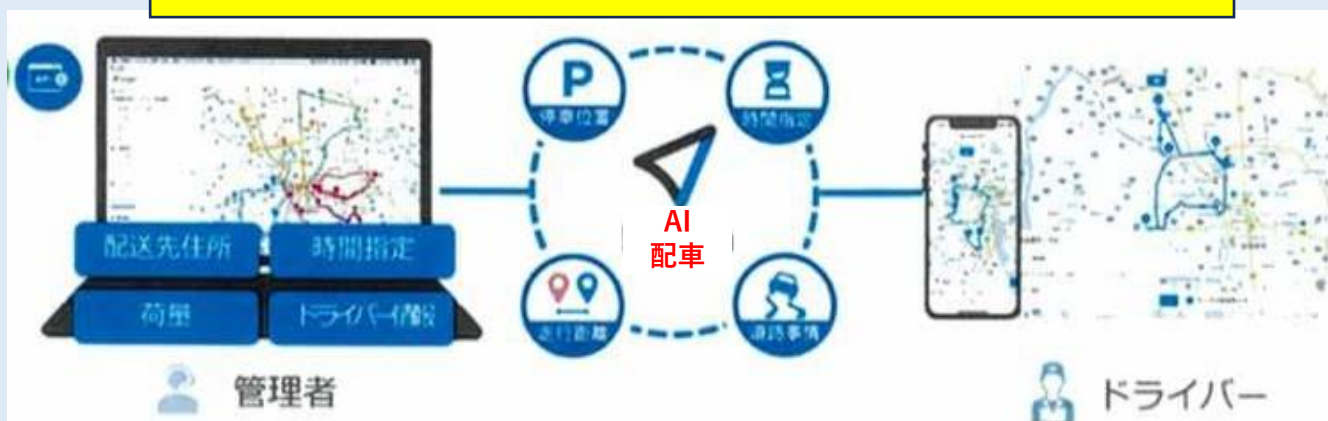


課題を解消するためスタートアップ企業と連携し、

「どの車両が、どの訪問先を、どの順位回るか」

配車計画をAIによって計算し、最適なルートを提供するクラウドサービスを導入した

配送距離【1日 225km】の削減！！



(3) 納品場所の変更と成果

バックヤード納品の推進 ≪選ばれる荷主になる≫

≪荷主として小売店舗（着荷主）への働きかけ≫

長年の商習慣として、配送ドライバーが店舗のバックヤードではなく、実際の商品陳列場所まで荷物を配送し、中には陳列まで行うという付帯作業を行ってきた実態があった。この荷役時間がドライバーの拘束時間を圧迫するとともに、長時間労働の一因ともなっていた。



【荷主が行うべき責任】

配送店舗に対してバックヤード納品への理解を求め、付帯作業の廃止をメーカーとして強く求めることとした。その背景には、これまで取引のあった運送会社から、「このままでの状況ではドライバーの拘束時間が遵守できない。その場合は取引から引き上げも検討せざるを得ない」との申し出を受け、安定した配送の実現のためには小売店舗へ働きかける必要があった。

ピンチはチャンスである！！

これまで長年行われてきた商習慣を止めるわけであり、大手小売店の抵抗はかなり強い…。

しかしながら「物流の2024年問題」は、メーカーとしてピンチであると同時に発荷主としては着荷主である小売店に対してバックヤード納品を推し進めるためのチャンスと捉えた。

過去に例のない企業間連携の好事例

◆ パンメーカー単独では難しかったと思われる取組みも、メーカー同士の歩調を合わせることで効果は絶大であり、大手小売店舗も要請を無視できず、バックヤード納品に理解を示すようになったことは、過去にない企業間連携の好事例であると捉えている。



作業時間の削減【1日 710分】

【バックヤード納品の活動進捗】

作業時間の削減： $142\text{店} \times 5\text{分} / \text{店} = 710\text{分} / \text{日}$

対象店舗：638店 改善店舗：142店 進捗率：23%

（４）配送エリア重複店舗の最適化（共同配送）

背景：日通(株)厚木センターと湘南工場拠点の配送車両が重複するエリアがあり、両社が同エリアを走行する無駄が発生



取組：配送エリアの効率化を図るため共同配送を導入



効果：▲18時間／日 ▲286km／日 ▲102kg (CO₂)／日



配送車両、ドライバーの確保と地球環境に効果

「神奈川労働局長と神奈川運輸支局長によるベストプラクティス企業への職場訪問」の取材にあたりまして

取材いただける場合には事前に次の担当まで電話等でご連絡いただきますようお願いいたします。

(担当者：神奈川労働局労働基準部監督課 さわだて 澤舘 045-211-7351)

- (1) 当日は、**14 時 20 分**までに敷島製パン(株)パスコ湘南工場（神奈川県高座郡寒川町一之宮 7 丁目 9 番 1 号）の**正面玄関**までお越しください。

会場まで担当者がご案内します。

- (2) 車でお越しの場合、駐車場に制限がございますので、必ず事前連絡をいただき、当日警備室で受付をお願いいたします。

- (3) **当日の流れ**（予定）

14：45 頃 開始

- ・ 神奈川労働局長・神奈川運輸支局長から挨拶
- ・ 【荷主】敷島製パン(株)、【元請運送会社】パスコ・ロジスティクス(株)、【運送協力会社】つしま運輸(有) 各代表から挨拶
- ・ 会社概要の紹介、荷主会社と運送事業者の取組説明
- ・ 配車ルート設定のシミュレーション見学（システム開発会社説明）
- ・ 意見交換

16：30 頃 終了

- (4) **取材にあたってのご注意**

- ・ カメラ撮影はできますが、撮影の都度、敷島製パン(株)の社員に撮影内容をご確認いただき了解を得てから撮影にご協力ください。また、最後にすべての写真を敷島製パン(株)の社員が確認をさせていただきますので、併せてご理解とご協力をお願いいたします。
- ・ 事業場内では、敷島製パン(株)の社員、労働局職員の案内に従って行動をお願いします。
- ・ 当日は会社指定のスニーカーに履き替えていただく必要がありますので、あらかじめスニーカーサイズの確認をさせていただきます。
- ・ 体調不良の方の参加はご遠慮いただくようお願いいたします。

▼住所 〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-9-1
工場代表: 0467(74)1411

▼交通 JR東海道線茅ヶ崎駅北口よりバス(約25分)
徒歩(①1分,または,②10分)

《茅ヶ崎駅北口バスターミナル》



①52・54番系統(山伏塚経由)、尾崎戸下車(徒歩1分)

茅52・茅54(5番のりば)

13時 30分(山)

②41・45番系統、寒川高校下車(徒歩10分)

茅41・茅45(5番のりば)

13時 20分